

諏訪中 だより

多摩市立諏訪中学校

ユネスコスクール認定校

〒206-0024

多摩市諏訪5-12-1



令和6年10月21日

第6号

音楽会を終えて

校長 齊木 伸郎

先日の音楽会には、大勢の保護者の皆様にご観覧いただき、心より感謝申し上げます。温かな拍手のもと、多くの方々に見守られながら発表できることの喜びを実感する機会となりました。練習期間も含め、さまざまな場面で大きな成長が見られた行事となりました。

そこで、朝礼では、以下のように生徒に話をいたしました。

音楽会を終え、中には、目指していたところには届かなかったり、思ったように声が出なかつたりして、悔しい気持ちをもった人がいるかもしれません。しかし、今自分ができるとの精いっぱいを果たそうとするみなさんの歌は、胸を打つものがありました。すべてのクラス、全生徒の皆さんの頑張りを心から称えたいと思います。では、ほんの少しずつですが、各学年の感想を話したいと思います。

まず、1年生。大きな舞台での発表が初めてとは思えないほどの、明るく伸びやかな歌声で素晴らしいスタートを切ってくれました。

次に、2年生。「さすが、2年生」です。きれいなハーモニーと声量で、違いを見せてくれました。練習期間スタート時から、見違えるほどの出来栄で、2週間における成長の度合いはとても大きなものでした。

そして、5組。実に見事な合奏でした。練習時に比べると、若干緊張感があったようでしたが、プレッシャーを乗り越え、楽しい演奏で学校をひとつにしてくれました。合唱では、3つの学年が一緒に歌うことの難しさがありましたが、よく高められていたと思います。3年生の力強いサポートも、けっして忘れることはできません。

いよいよ3年生。「やっぱり3年生」です。運動会同様、縦割り練習の時を含め、大きな存在感を示してくれました。その迫力と厚み、美しい響きに圧倒されました。2年生・1年生が来年、再来年とこの3年生を越えていってくれることを期待します。

そして、それぞれの合唱を支えた、指揮者・伴奏者の人たちの存在が大きかったのは言うまでもありません。きっと人知れず、影の努力を重ねてくれていたことと思います。

また、クラスごとの楽譜の表紙絵は、とてもレベルの高い出来栄でした。それぞれの曲のイメージやクラスの雰囲気的確に表現されていました。きっと、クラスのみんなの気持ちを高めるのに大きな役割を果たしてくれたことでしょう。

もう一つ、当日感じたのは、皆さんの心の温かさです。5組の演奏の時には、手拍子が起こりました。演奏後の大きな大きな拍手は、これまでの5組の頑張りを認めて、支えようとするものでした。もちろん、それは、他のクラスの発表に対しても同じでした。仲間の気持ちを理解し、思いやることができるからこそ、自然に敬意を払い、称え合って、会場は一体になったのだと思います。

最後に、みなさんにお詫びしなければいけないことがあります。音楽会の審査結果についてです。あってはならないことなのですが、審査の間違いがわかりました。結論をお話すると、2年1組にも金賞を授与することとなりました。2年生は、金賞がふたクラスということになります。このあと、改めて表彰いたします。

今回のことは、集計上のミスであるので、今後は、決してこのようなことがないように再発防止を強化していきます。2年生の皆さんには、つらい思いをさせてしまいました。申し訳ありません。



5組生徒と3年生有志による合唱